

脱炭素先行地域 中間評価報告票

提案者名	宮古島市
共同提案者名	株式会社ネクステムズ、SocioForward株式会社、株式会社宮古島未来エネルギー、沖縄電力株式会社
選定回	第4回

【先進性・モデル性の類型】

地域課題解決	防災・レジリエンス強化、収益の地域還元
地域脱炭素の基盤創出	地域エネルギー会社との連携
需要家・エリア設定	特定行政区等の全域、離島
創出する再エネの種類・導入技術等	高度なエネマネ（VPP、DR、MG、大型蓄電池等）（リアルタイム需給管理）

1-1.中間評価実施時点までの「実質ゼロ」の達成率

$$\left(\frac{7.6163174}{1,535,409} (\%) \right) + \left(\frac{0}{0} (\%) \right) \div 20,159,467 (\text{kWh/年}) = 8 (\%)$$

種類	民生部門の電力需要家	数量	電力需要量 (kWh/年)	再エネ等の供給量(kWh/年)				合計	省エネ等による電力削減量 (kWh/年)	CO2 排出削減量 (t-CO2)	備考
				内訳							
				自家消費等	相対契約	再エネメニュー	証書				
民生・家庭	戸建住宅	1,467	5,281,200	1,535,409	0	0	0	1,535,409		1,068.6	
	その他	350	1,260,000	0	0	0	0	0			
民生・業務その他	オフィスビル	0	0	0	0	0	0	0			
	商業施設	2	670,000	0	0	0	0	0			
	宿泊施設	20	6,424,000	0	0	0	0	0			
	その他	215	4,770,000	0	0	0	0	0			
公共	公共施設	26	1,754,267	0	0	0	0	0			
	その他							0			
合計			20,159,467	1,535,409	0	0	0	1,535,409	0	1,069	

1-2.中間評価実施時点における新規再エネ導入量

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	累計
	0	29	1,140						1,169

1-3.「実質ゼロ」の達成見通し

令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
7.6%	34%	67%	100%	100%	100%

2-1.共通KPIの進捗状況

■指標：脱炭素先行地域における域外へのエネルギー代金流出抑制額

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	46,673,028	92,127,994	102,707,027	100,527,282	85,472,504	0	0
	累計		0	46,673,028	138,801,022	241,508,050	342,035,331	427,507,835	427,507,835	427,507,835
実績	単年度		0	828,337	33,133,469					
	累計		0	828,337	33,961,806					

2-2.個別KPIの進捗状況

■指標①：地域主体による新規事業数

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	0	1	1	1	0	0
	累計		0	0	0	1	2	3	3	3
実績	単年度		0	1	1					
	累計		0	1	2					

実績詳細	<p>【地域PPA事業者の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沖縄電力関連会社の「株式会社沖電工」がPPA事業に新規参入しており、本補助事業を実施中。県内電力インフラ関連工事を基盤に事業実施をしており、宮古島内にも支店を有している。 ・狩俣地区で障がい者就労支援施設を運営するNPO法人による施設利用者の移動支援サービスと地域住民を中心としたEVの時間シェアを実施する事業実施に向け支援中。 ・下地地区において地域内で民宿と配食サービスを実施している事業者に対して、配送と連動した地域住民の移動支援サービスと地域住民を中心としたEVの時間シェアを実施する事業の実現に向けた事業計画の策定支援中。
------	--

■指標②：漁業廃棄物再利用率

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	10%	15%	30%	50%		
	累計		0	0	10%	15%	30%	50%		
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

実績詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・狩俣地域における漁業加工場と土作りによる農漁業連携は、加工場整備計画変更により、整備が不要となった。そのため、現在協議中の計画変更に合わせて削除を行う予定。
------	---

■指標③：両地域でUターンを含む移住者の定住人数（組数）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
目標値	単年度		0	0	1	2	3	4	0	0
	累計		0	0	1	3	6	10	10	10
実績	単年度		0	0	0					
	累計		0	0	0					

実績詳細	<p>観光をはじめとする経済活動の活発化、建築単価の高騰などに伴い、家賃の高騰並びに住宅不足が島内でおきている。今年度は事業に関係する市の上位計画との整合を図りながら、宮古島市空家等対策計画に基づき設置された宮古島市空家対策協議会と連携しつつ空家等の利活用を検討を行っている。</p>
------	--

3.横展開の可能性について

自治体内外への横展開に向けた方針の検討状況について

●自治体外への横展開

○視察・ヒアリング等の受け入れを積極的に行っている。

・令和6年度…7件 ・令和7年度…3件

○共同提案者のネクステムズ比嘉直人氏が脱炭素まちづくりアドバイザーとして他自治体へアドバイスを行っている。

○地元事業者による新たなPPA事業者の創出のためのPPA講座を実施中。

PPAプレ講座：令和7年1月29日、参加者3社6名、オブザーバー参加2名

PPA講座：令和7年8月5日、参加者2社4名

●市内の先行地域外への横展開

○先行地域内でのPPA事業で知見・ノウハウを蓄積し、先行地域外へのPPA事業の拡大を実施している。

○ネクステムズ主催でオンサイトPPAや分散型に関する「離島シンポジウム2025（みゃーく会議）」を開催。

4.地域の将来ビジョンへの位置づけの状況

市の最上位計画である「宮古島市総合計画（令和4年4月策定）」では、特に重点的に取り組むべき施策の一つとして「循環社会の構築」を掲げ、そのうちの計画目標に「脱炭素社会及び災害時に強い社会を構築するため、再生可能エネルギーの最大限導入に取り組む」こととしている。また、「宮古島市環境モデル都市行動計画（令和6年3月策定）」、「宮古島市地球温暖化対策実行計画（令和6年3月策定）」において重点プロジェクトとして位置づけ、実現を目指している。